

## 名身連ニュース（H30.5.18）

### 熱戦！圧巻！

### ～第15回名古屋市障害者スポーツ大会が開催されました～

毎年5月に開催される「名古屋市障害者スポーツ大会 陸上競技・フライングディスク・レクリレーションの部」が6日（日）にパロマ瑞穂スタジアム及びパロマ瑞穂北陸上競技場で開かれ、約750名の参加者が熱戦を繰り広げました。

伊東副市長の手話を交えた開会の挨拶に続き、名身連橋井会長からも「自分の力を存分に発揮し、それぞれの目標に向かって一生懸命頑張ってください」と激励の言葉があり、大会の幕が開きました。名古屋女子大学中学校・高等学校のマーチングバンドによる華やかな演奏が開会式を盛り上げ、福井県、茨城県、名古屋市のマスコットキャラクターたちも参加者を鼓舞しました。

午前10時に競技開始。競技は、50メートル走、ソフトボール投げ、リレーなど計17種目を実施。厳しい日差しの下、参加者は仲間やボランティアの声援を受けながら、性別、年齢、障害の程度ごとに分かれて競い合いました。参加者は入賞や自己記録更新、全国大会出場等、各々が掲げた目標を達成するため、ひたむきに汗を流していました。好記録がでると会場から歓声がわいて大会はさらに盛り上がりました。

また、今年はスタジアムの正面玄関前スペースでブラインドサッカーやボッチャ等の障害者スポーツを体験できるブースと輪投げやスーパーボールすくい等のお楽しみブースが出展されました。選手はもちろん、スポーツ大会の選手ではない方や一般の方も参加しており、アスリートと交流をもったり、ボッチャで点数を競い合ったりしてどのブースも大盛況でした。

今年の全国大会は10月13日から15日まで福井県で開催される予定です。



橋井会長の挨拶



選手宣誓の様子